



総合調査設計では、大阪を中心としたまちの魅力を発見、発掘することを目的として「大阪探検隊」なる活動を行っています。

今回は、平成 15 年 8 月 26 日に一部開通が予定されている神戸の新しい高速道路「阪神高速神戸山手線」の開通イベントに参加してきました。



左) イベント案内チラシ

イベント開催日は平成 15 年 8 月 10 日の日曜日で、神戸山手線妙法寺出入口にて 9 時～10 時 30 分の間に受付をすませスタートします。

アナウンスによりますと、当日の参加人数は約 4000 人とこのことで、子供から大人まで日頃歩くことの出来ない高速道路を和気藹々と歩いていました。

ウォーキングコースは、神戸地下鉄妙法寺駅近くの妙法寺出入口を起点に北上し、白川南出入口や白川トンネルを經由して 7 号北神戸線白川ジャンクションにて折り返し、スタート地点の妙法寺出入口まで戻るといったものです。(合計 8 km)



## 妙法寺出入路（スタート）



妙法寺駅から歩いて、「阪神高速道路神戸山手線 / 妙法寺出入路」に向かいます。この日は晴天でしたが、午前中は8月というのに暑くもなく、快適に歩くことができました。

まずはスタート地点である妙法寺出入路に向かいます。  
料金所で受付をしようとしたところ、ふと横を見るとMBS ラジオパーソナリティでお馴染みの馬場章夫（ばんばふみお）さんがにこやかにお出迎えをされていました。

馬場さんは気さくな方で、写真にも笑顔でご了解いただきました。



このイベントは、阪神高速道路公団とともに MBS ラジオが主催していますが、長寿番組である『ごめんやす馬場章夫です』30年周年記念もかねているようです。

これからもご活躍を期待しています。

写真左)

右端が馬場章夫さん。とても気さくでやさしい人です。

## 本線へ



筆者は、こうしたイベントに参加するのが初めてなのですが、車でしか通ることのできない高速道路を、大勢の人がゆったりと歩いている構図は、とても不思議な感じでした。

新設の白線やアスファルト、案内標識などが、これからの異空間散歩への気分を盛り立てます。

そうした気持ちの中しばらくすると白川南出入路が見えてきます。

2つのランプが本線に取り付くその姿は、雄大でゆるやかな土木構造物としての美しさを感じさせます。



桁部分は、茶系色なのですがよく見ると、耐候性鋼ではないかと思われます。

耐候性鋼は、無塗装で優れた防食性能を発揮するため、橋梁や構造物のライフサイクルコストの観点から魅力的な素材です。この素材による橋を見たのは、はじめてです。

白川トンネルが見えてきました。入口付近は、土を模したように茶系のグラデーションで美装されています。



## 白川トンネル



この白川トンネルは、2本のトンネルが中央の壁を共有するトンネルで、通称“めがねトンネル”と言われていますが、延長が約1kmで日本一長い“めがねトンネル”となるそうです。

トンネル中央部あたりで、パネルやインターネット、管理車両などによる展示コーナーが設けられています。参加者が職員さんに熱心に質問している姿が印象的でした。



トンネル出口付近では、落書きコーナーが設けられており子供に交じって大人も一生懸命落書きを楽しんでおられました。

## 白川ジャンクションを折り返しゴールへ

7号北神戸線と山手線の交差部である白川ジャンクションまでは、やや登りになります。7号北神戸線は、中国自動車道の西宮山口JCT並びに六甲北有料道路と第二神明道路の伊川谷JCTをつなぐ道路で、今年の春に全面開通しました。



こうした神戸山手や阪神間をつなぐ道路は、ラダーネットワークと呼ばれ、代替性のある道路づくりにより災害機能の充実、強化が図られます。

ジャンクションを折り返し、ゴールでもある妙法寺出入路へ向かいます。

イベント会場付近の妙法寺トンネルでは、抽選会を待つ人で賑わっていました。惜しくも我々メンバーは、1等賞品であるUSJ入園チケットをゲットすることはできませんでした。

基本コースのゴールはこの妙法寺ですが、追加コースとして神戸長田トンネルを經由して神戸長田出入路付近までのコースが設けられていたので、こちらにも参加することにしました。



### 妙法寺第一・第二トンネル～神戸長田トンネル～神戸長田出入路付近



妙法寺第二トンネルを抜けると、耐候性鋼で整備されたトラス構造の護摩谷橋が見えます。

しばらく歩くと延長約2kmの神戸長田トンネル入口に到着。付近には妙法寺換気所があり、ここでも参加者は興味津々に見入っていました。





この日の最高気温は 32.6 °でしたがトンネル内は涼しく、快適に長田までの散歩を楽しみました。  
各トンネルは、まるで地底洞窟を探検しているような気分させます。



自然光が見え始め、ゴールの神戸長田出入路付近の出口に到着。

今回のコースは、総延長約 1.5 km で以前の渡船巡りと同程度の距離でしたが、半分はトンネルであったため、夏場でもそれほど大変な感じではありませんでした。

最後に疑問ですが、トンネルの照明灯はナトリウム灯と蛍光灯の2種類が使われていました。どういった使い分けなのでしょう。

また、神戸長田トンネル天井部に開いている細長い開口は、吸気用のものなのでしょうか。

お疲れさまでした。では、三宮高架下に向かいましょう！



写真上)  
神戸長田出入路付近の蓮宮換気所